

寺館和子

獅子の娘

第5巻





誰……

さ 坊ちゃんま
帰りましたよ

夜も遅いことです



剛

おまえまで
関をたますのか



とーさまや
かーさま

他のたくさん
の大人のよう

おまえまで……!!



ずるい大人達と
同じように

ぼくを子供扱いして
だましたのか

誰さま……



おまえだけは違うと
思ってたのに——!!









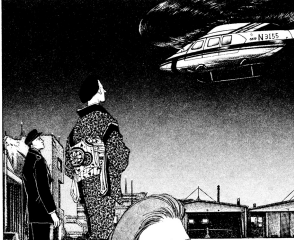
はいっ

立花
いくぜ



気をつけて
坊ちゃま

おさん！



響

あなたが心を
閉ざしたときから

私はまるで睡れ物に
さわるかの様に
あなたに届してきた



でもそれが
間違っていたら

空想での
剛さんの言葉で
気づかされた

「おれは、おれは……」

「おれは……」

「おれは……」

「おれは……」

「おれは……」

「おれは……」

「おれは……」

「おれは……」

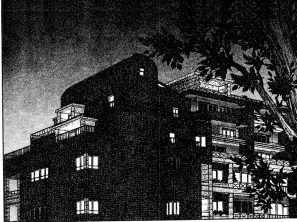
「おれは……」

それを
剛さんが

そして
運手さんが
あなたに
いっしょに

あの二人があなたに
与えたといふのさ……







どうして
信じないんだ
瑠子さんを

彼女は
あれ程あなたを
愛してたじゃ
ないか



愛してるわ
幸一さん

真摯の気まらな
言葉に受けきれず

瑠子さんを
愛し守ってくれると
思ってたよ



大の力、投げて

夫の子あなたに
思っ腹がすびやないのよ

あなたと剛さん
比べてたときなんか

私と幸一さんの
家庭がもてるなんて



幸せ上郎

幸一さん



僕!?
僕は企画部の江口だ
そう今からそちらへ
向かう
それまでライオンHの
連中のへりの行き先を
確認してくれ

もしもし
航空部か
これからへりを
一機チャーター
したい
そうだ
命ずぐ



寺さん



何故疑ったりしたんだ







理子さん

誰も愛する人の心を



夜の海って
本当に真っ黒なんだ

すいこまれ
そうなくらい…



同じことを
言っ
て
おられましたよ

おとうさまも
——言



あの女と
とうさまの関係は
知ってたよ



歌をまよ?

ずっと昔——
知った

いや!

たぶん女狐の腹に
はまったんだ僕も



別に

と一さまが招いてるって
あの女狐が言った...



あの女狐の腹に

あなたと一人きりで
過ごしたいそうよ

南の方にね
つい最近買った
小さな舟なの



このところ
仕事に忙しくて

あなたや家庭に
充分サービスしてをいって

そのお詫びですって



よかったわね
蘭くん



この一週間は
とーさまは
働だけのものだ

とーさま

1ヶ月

